

9 公共施設等老朽化に伴う市民の安全・安心の確保について

平成29年、「耐震診断結果」が公表され、市民会館・総合体育館・本庁舎等はいずれも震度6強以上の地震で倒壊、又は崩壊する危険性が高いとされています。

防災の拠点となる市庁舎、避難場所となる公共施設等については、存廃・補修・建替えなどの早急な対応策を講じる必要があります。

については、市民の安全・安心確保のため、国に対し必要な予算措置を要請するとともに、それぞれの公共施設に係る具体的な整備計画を早期に策定し、順次事業化するように要望いたします。

10 創業支援策の拡充について

当所では、起業の可能性をより多く発現させ、事業所の増加と地域の活性化を目指すため、小樽市・市内金融機関等と連携した「ワンストップ相談窓口」を設置し、創業・資金計画、開業に関する諸手続等、創業希望者が相談しやすい体制を整えております。

については、小樽市においては、産業競争力強化法の創業支援事業計画の認定を受け、補助事業制度を実施しておりますが、引き続き創業希望者の支援

策を展開するとともに、補助対象要件の緩和等、さらなる創業拡充策等を積極的に推進するように要望いたします。



11 市内商店街への支援について

市内の商店街は、商業環境が大きく変化し、顧客の減少や売上の低迷など、衰退しております。

特にサンモール一番街商店街は、防雪壁前が無店舗状況で中心商店街としては大変に寂しい状況にあります。

については、市民や観光客にぎわう商店街の再構築に向けて積極的に対応されま

すよう次の事項について要望いたします。

- (1) 新たな機能導入や再生・活性化事業を行う際の許認可など積極的な支援をしていただきたい。

- (2) 再生・活性化に向けた具体的な施策

を積極的に展開していただきたい。

12 地元企業の優先発注について

市内中小企業者や小規模事業者の経営安定と雇用確保のため、次の事項について要望いたします。

- (1) 地元企業への優先発注の基本的な考え方を再認識の上、発注は地元企業（共同企業体を含む。）を優先していただきたい。

- (2) 受注事業者に対し、下請事業者及び資材の調達、地元企業から選定調達するように指導していただきたい。

13 「海の体験型宿泊施設」の整備促進について

当所は、小樽の観光を更に底上げし、通年型の観光地として発展させていくためには、小樽の強みである「海」を活かした通年の体験型宿泊施設が必要であると考えております。

祝津地区は、おたる水族館や漁場建築を含む歴史的建造物が建ち並び、通年の観光ゾーンとしての魅力も高く、今後も小樽の観光を支える重要な地域であります。

既に廃校となった「旧祝津小学校」は、こうした観光ゾーンにあり、校舎は耐震化が図られていることから

「海の体験型宿泊施設」として利活用するべきであると考えております。

小樽市では旧祝津小学校の有効活用を模索するため、サウンディング型市場調査を実施したものの、その後一歩も前進が見られません。

「旧祝津小学校」は、市防災計画の避難所に指定され、今後も小樽市が管理する施設であります。

については、通年稼働で長期滞在が可能な「海の体験型宿泊施設」の検討を要望いたします。

